

川崎市議会議員 いわくま ちひろ

# 危機的な低投票率

民主党市議団  
連載No.71

4月12日に行われた川崎市議選にて、**3期目の当選**を果たしましたので、本コラムを再開させていただきます（公職選挙法上、紙面での当選御礼は行えませんのでご了承ください）。

強い信念があったからです。

しかし、今回の高津区の投票結果を調査すると、有権者数17万5478人中、投票者数は6万8620人、投票率は39.1%という

川崎市内最低の投票率を記録し、行政区の中で唯一40%を切るという危機的状况になっています。

選挙期間中は、「高津区、脱・低投票率」というスローガンを掲げ地域のみなさんに投票率の向上を訴えて参りました。この数年、固定化している高津区の低投票率

投票率の向上には、短期・長期的な取り組みが求められます。短期的には、生活動線に投票所を設けることなどです。選挙期間中にも、蟹ヶ谷にお住まいの方から「選挙に行きたくても山坂が多いので行けないのでなんとかして欲しい」との要望を頂きました。また、高津区内の投票所別

投票率をみても、いつも新作小学校が低迷しています（今回も25.8%と区内最低）。恐らく、新作小学校が高台に位置しているからでしょう。

また、長期的には、これまで市議会の中で取り上げてきましたが、大人から子どもまであらゆる層への「主権者教育」の充実です。学校でただ単に政治制度を学ぶだけでなく、政治イコール生活と捉え、日頃から政治に対する関心を保ち、投票の重要性を認識するなど、一過性の主権者教育ではなく継続的な教育が必要となります。

議員は、市民の代表として議会にて「まちづくり」「行政へのチェック機能」等、様々なことに取り組んでいます。無関心では、私たちの街は良くなりません。選挙・投票に行つて頂くことから、まちづくりへの参画をお願い致します。



川崎市議会議員  
いわくま ちひろ

また、高津区内の投票所別

また、高津区内の投票所別